

NEWS RELEASE

2023年12月12日

各位



〒656-0101 兵庫県洲本市納 85 番地 1

代表取締役社長 橋本琢万

高齢者を守る「移動スーパー」の取り組み（年末特別火災警戒）

当社は、淡路広域消防事務組合（消防本部 予防課）と連携のもと、訪問先の高齢者へ、年末特別火災警戒 他の呼びかけ（住宅用火災報知器等のパンフレット配布）を12月20日（水）より行います。

【日程】 2023年12月20日（水）～12月22日（金）

【内容】 年末特別火災警戒（淡路広域消防事務組合、消防本部予防課と連携のもと）

【対象】 移動スーパー「とくし丸」訪問先の高齢者（合計約1000名）

昨年（2022年）発生した住宅火災による死者のうち、75.1%が65歳以上の高齢者で、亡くなった理由は『逃げ遅れ』が全体の約半数を占めています。（消防庁 HP 防災情報室レポート2より）その要因として、高齢者は、使い慣れたコンロや裸火型の古い暖房器具を使い続ける傾向があること、また体力・判断力が低下し、逃げ切れず多くの方が亡くなっていることが挙げられます。

『逃げ遅れ』を防ぐためには、住宅用火災報知器が非常に有効ですが、淡路島は兵庫県内の設置率がワースト1と、設置促進が優先課題となっています。また、設置義務化から概ね10年が経過、交換時期が過ぎ、電池切れ等が懸念されています。

独居高齢者は、消防からの情報が届きにくく、昨年度より、高齢者と対面で接する移動スーパーの特性をいかし、消防からの情報を届ける取組みを行うこととなりました。

空気が乾燥し、火や暖房器具を使用する機会が増えるこの季節、火の取り扱いに注意を促し、火災報知器の設置・作動確認を呼びかける啓発を行ってまいります。

移動スーパーが訪問する独居高齢者は、周囲との交流（相談する相手）が少なく、行政からの情報が届き難い実情があります。今後も、行政機関と連携を図り、販売員がお客さま一人ひとりと目を合わせ対話し、効果的に情報を届けることで、健康管理、防犯や防災の輪を広げていきたいと考えております。

以上